

## アフター・サービスについて

1. この製品には保証書を別途添付しております。保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認の上で取扱説明書などと一緒に大切に保存してください。
2. 保証期間はご購入日より1年です。保証期間中は、保証書の記載内容により、当社サービス機関が修理いたします。その他詳細につきましては保証書をご参照ください。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、ご購入の販売店、

- もよりの当社営業所、サービス・センター、または本社サービス1課にご相談ください。
- 保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- なお、営業所などの所在地および電話番号は、下の欄に記載しております。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

# TEAC®

## STEREO DOUBLE CASSETTE DECK

# W-660R/W-460C

5700085500



W-660R



W-460C

## 取扱説明書

このたびはTEAC W-660R/W-460Cステレオ・ダブル・カセットデッキをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、保証書などと一緒に大切に保管してください。

### 目次

ご使用の前に	2
接続	3
各部の名称と機能・操作説明	4~6
録音・再生・消去	7~8
便利な機構とその使いかた	9~12
録音ミュートイング	
ブランク・スキャン	
プログラム再生	
コンティニアス再生	
CPSシステムについて	
タイマー録音・再生	13
ダビング — テープの編集	14~16
簡単なお手入れ	16
カセット・テープについて	17
おや!故障かな	18
仕様	19
アフターサービスについて	裏表紙

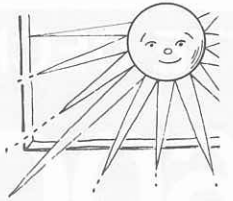
## ティアック株式会社

本社	180	東京都武蔵野市中町3-7-3	電話 (0422)53-1111(代)
営業部	181	東京都三鷹市下連雀4-15-30	電話 (0422)45-7731(代)
札幌営業所	064	札幌市中央区南7条西2-2	くぼたビル 電話 (011)521-4101(代)
仙台営業所	980	仙台市1番町2-5-5	中央ビル 電話 (022)227-1501(代)
東京営業所	100	東京都千代田区永田町2-10-7	星ガ岡会館 電話 (03)592-1831(代)
三鷹出張所	181	東京都三鷹市下連雀4-15-30	電話 (0422)45-7721(代)
千葉出張所	280	千葉市松波1-11-3	石橋松波ビル 電話 (0472)55-1281(代)
横浜営業所	221	横浜市神奈川区沢渡1-1	高島台第一ビル 電話 (045)312-3270(代)
名古屋営業所	464	名古屋市千種区東山通り3-2-3	電話 (052)782-4581(代)
静岡出張所	420	静岡市中島大割2861-1	電話 (0542)81-6561(代)
大阪営業所	564	大阪府吹田市垂水町3-34-10	電話 (06)384-5201(代)
京都出張所	600	京都市下京区大宮通四条下ル四条大宮町21	新三虎ビル 電話 (075)842-0751(代)
岡山出張所	700	岡山市青江512番1号	電話 (0862)25-8601(代)
広島営業所	733	広島市中区中島町10-24	電話 (082)243-3581(代)
福岡営業所	812	福岡市博多区東光2-2-24	電話 (092)431-5781(代)
サービスに関するお問い合わせ	本社サービス1課	180 東京都武蔵野市中町3-7-3	電話 (0422)53-3242(代)
	松本サービスセンター	399-07 塩尻市広丘吉田1007-7	電話 (0263)58-6849(代)
	新潟サービスセンター	950 新潟市東明7-4-1	電話 (0252)86-7640(代)
	大宮サービスセンター	330 大宮市三橋2-846	電話 (0486)42-4551(代)
	沖縄サービスセンター	901-27 沖縄県宜野湾市字喜友名229	電話 (09889)2-2020(代)
技術的なお問い合わせ	テープデッキ相談室	180 東京都武蔵野市中町3-7-3	電話 (0422)53-9213(代)

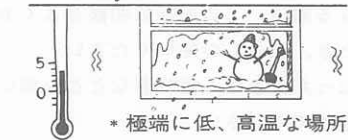
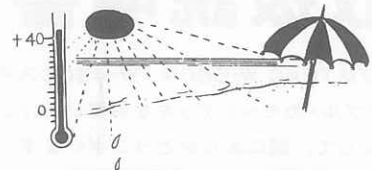
## ご使用前に

### ■設置/使用上のご注意

つぎのような場所への設置、取扱いに注意



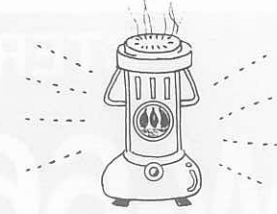
\* 直射日光の当たる場所



\* 極端に低、高温な場所



\* 内部に手を触れない



\* ストープの近く



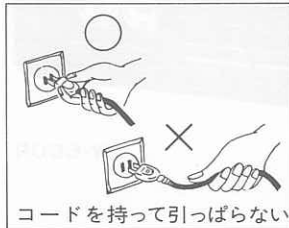
\* 振動やホコリの多い、不安定な場所

\* ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

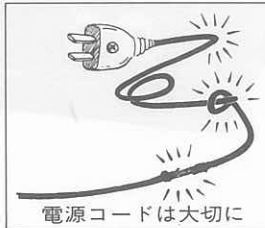
\* 「ドルビー」及びダブルD記号はドルビーラボラトリーライセンスコーポレーションの登録商標です。



深夜の音楽鑑賞は、隣近所の迷惑にならないように、音量を下げるかヘッドホンを使用してお楽しみください。

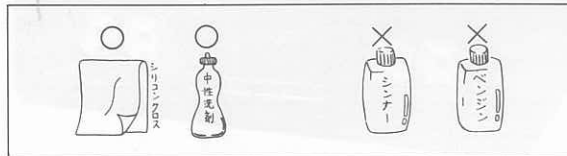


コードを持って引っぱらない



電源コードは大切に

●パネルおよびケースなどの清掃はシリコンクロスなどの柔らかい布を使用し、汚れがひどい場合には水で薄めた中性洗剤液を含ませて軽く拭いてください。シンナーやベンジンなどの溶剤は、文字を消してしまうことがありますので使用しないでください。



●本機に水などの液体や可燃物またはピンなどの金属類を入れないように注意してください。万一、このようなことが起こった場合は、大変危険ですのですぐに電源コンセントからプラグを抜いて、もよりの当社営業所、サービス・センターまたは本社サービス1課にご連絡ください。

## 接 続

### ステレオ・アンプとの接続

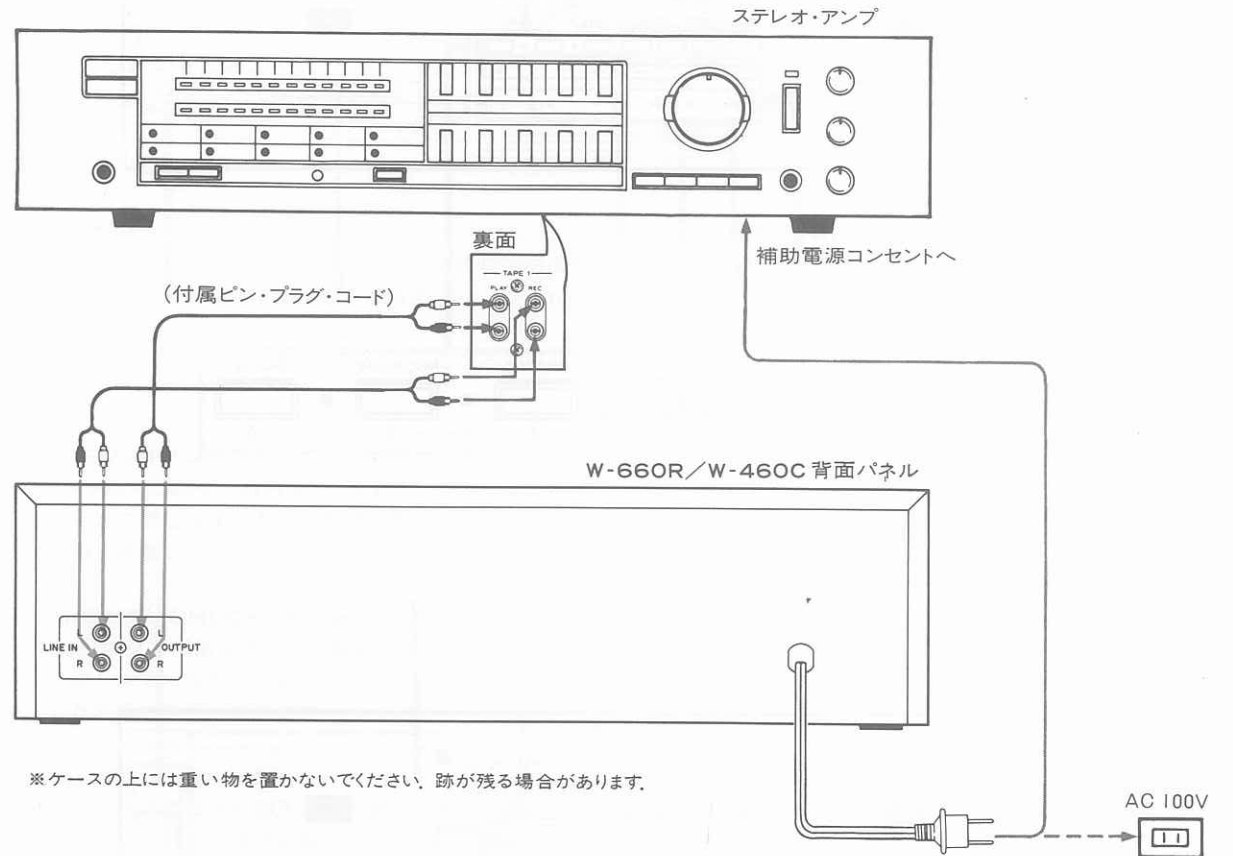
●接続するステレオ・アンプの取扱説明書をよくお読みの上、必ずステレオ・アンプの電源を切ってから接続してください。

●ピン・プラグ・コード(付属の入出力コード)は、[L](左チャンネル)を白、[R](右チャンネル)を赤と決めて接続すると、チャンネルをまちがえる心配がありません。

### 電源の接続

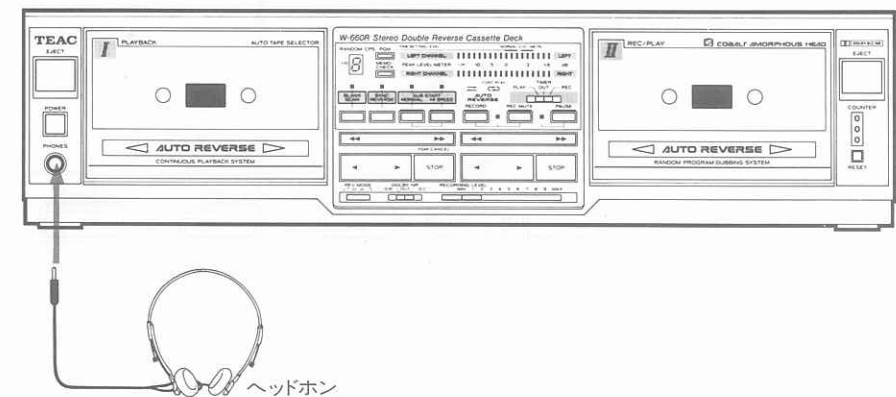
●必ずAC(交流)100Vの電源コンセントに接続してください。

●ステレオ・アンプには、ステレオ・アンプの電源スイッチに連動して電源が入切する補助電源コンセントを備えている場合があります。もし備えている場合には、本機の電源をそこからとって利用すると便利です。

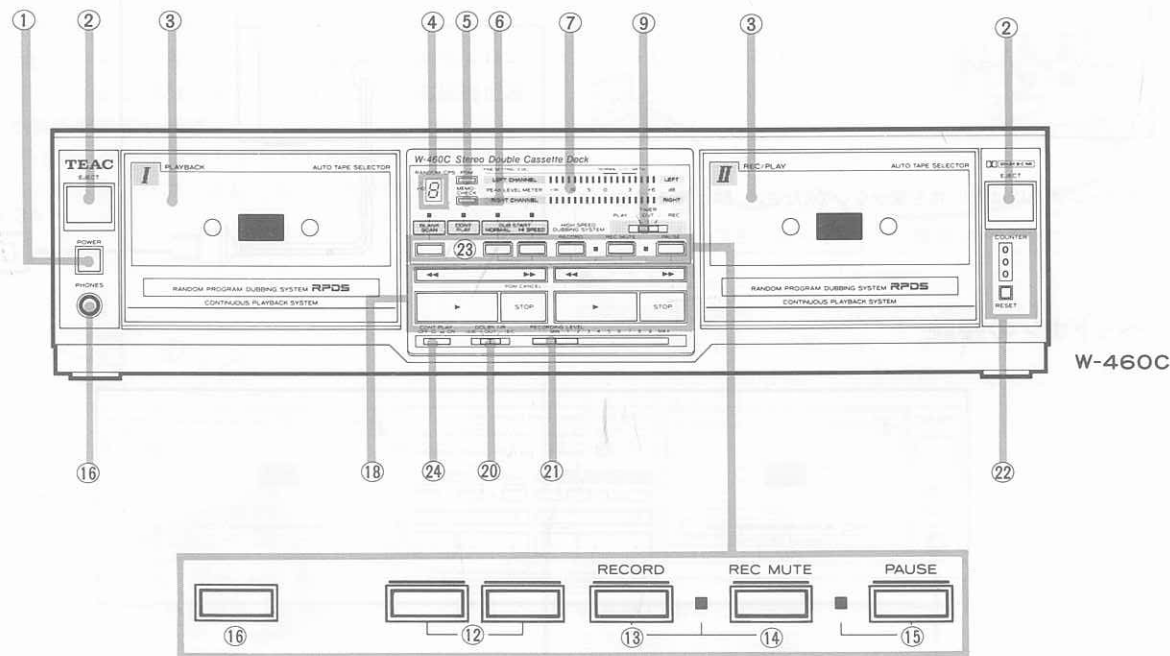
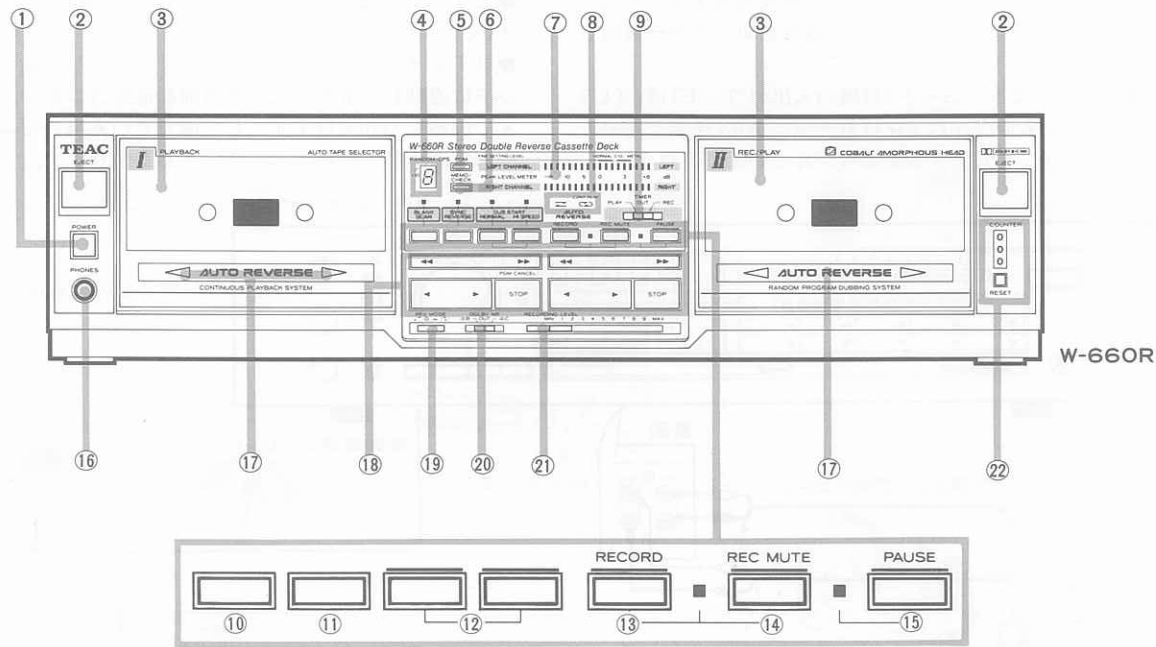


※ケースの上には重い物を置かないでください。跡が残る場合があります。

### ヘッドホンの接続



## 各部の名称と機能・操作説明



### ①電源スイッチ[POWER]

押すと電源が入り、表示窓に4→3→2→1→0と表示されます。もう一度押すと電源が切れます。電源をONにする場合は、OFFにした後約2秒以上経過させてください。

### ②イジェクト・ボタン[EJECT]

カセット・ホルダーを開ける場合に押します(録音、再生中は押せません)。I・IIデッキそれぞれについています。

### ③カセット・ホルダー

録音、再生するカセットを装着するところです。カセットはテープが見える部分を下にして入れます。Iデッキは再生専用、IIデッキは録音・再生ができます。

### ④表示窓

“ランダム・プログラム再生”、“CPS”での指定曲番を表示します。1~19まで表示し、左肩の\*マークは10の数を示します。普段は“0”を表示しています。“0”表示になるまでは操作できません。

### ⑤[PGM]ボタン

“ランダム・プログラム再生”、“CPS”での曲番を指定するときに押します。ボタンを押す度に1つずつ、押し続けると連続して番号が変わります。

### ⑥[MEMO/CHECK]ボタン

[PGM]ボタンで指定された曲番をメモリー(記憶)する場合に押します。なお、メモリーした後に押すと、メモリーした曲番の確認ができます。

### ⑦ピークレベルメーター

録音、再生するときの信号レベルを示します。信号レベルに応じて3ドットずつ6ポイントに点灯します。[LEFT]は左チャンネル、[RIGHT]は右チャンネルです。

### ⑧走行モード表示<W-660R>

- [二]: 録音、再生が片面のみ行なわれます。
- [C]: 録音、再生が両面にわたり往復で行なわれます。また、“コンティニアス再生”の表示でもあります。

### ⑨タイマー切換スイッチ[TIMER]

- [PLAY]: タイマー再生をする場合にセットします。
- [OUT]: タイマー動作しません。通常の使用時。
- [REC]: タイマー録音をする場合にセットします。(13ページ)

### ⑩ブランク・スキャン・ボタンとランプ [BLANK SCAN]

押すとランプが点灯して“ブランク・スキャン”となり、再生時に無信号を10秒間続けると次の曲をサーチします。(9ページ)

### ⑪シンク・リバース・ボタンとランプ<W-660R> “シンクロ・リバース・ダビング”にすると押しします。(15ページ)

### ⑫ダビング・ボタン[DUB START]

- [NORMAL]: 通常と同じ速度でダビングを始めます。
- [HI SPEED]: 通常速度の2倍でダビングを始めます。(14ページ)

### ⑬録音ボタン[RECORD]

押すとIIデッキの録音が始まり、背面パネルの[LIN IN]端子に接続された入力信号を録音します。

### ⑭録音ミュートボタン[REC MUTE]と録音/録音ミュートランプ

録音中に押すと約4秒間の無信号録音になります。(9ページ)。ランプは録音時点灯し、録音ミュート時には点滅します。

### ⑮ポーズ・ボタンとランプ[PAUSE]

録音または再生を一時停止するときに押します。もう一度押すと復帰します。一時停止中はランプが点灯します。

### ⑯ヘッドホン・ジャック[PHONES]

真夜中に音楽を聞くなど、ヘッドホンを使用する場合にプラグをここに差し込みます。

### ⑰方向指示ランプ<W-660R>

カセットを装着すると点滅し、録音/再生を始めると点灯に変わりテープの走行方向を示します。

### ⑱テープ走行操作ボタン

IデッキとIIデッキそれぞれに専用の操作ボタンがあります。

- [<< >>]: 早送り/巻戻しボタン  
テープを早送りする場合は“>>”側、巻戻しは“<<”側を押します。
- [< >]: 再生ボタン(W-660R)  
フォワード(正方向)再生は“>”側、リバース(逆方向)再生の場合は“<”側を押します。
- [▶]: 再生ボタン(W-460C)  
押すと再生が始まります。

### ●[STOP]：停止ボタン

テープ走行を止めるときに押します。なお、ダビング時は、一方の[STOP]ボタンを押すと両方のテープ走行が止まります。

Iデッキ用の[STOP]ボタンは“PGM CANCEL”機能もあり、メモリーされている曲番を抹消することができます。

### ⑱リバース・モード切換スイッチ[REV MODE] <W-660R>

●[]：録音、再生のテープ走行が片面のみで停止します。

●[]：録音、再生のテープ走行が往復になります。また、“コンティニアス再生”機能も兼ねています。(11ページ)

### ⑳ドルビーNR切換スイッチ[DOLBY NR]

- []：ドルビーNR Bタイプが選択できます。
- []：ドルビーNRシステムは働きません。
- []：ドルビーNR Cタイプが選択できます。

### ㉑録音レベル調整つまみ[RECORDING LEVEL]

IIデッキで通常の録音(「LINE IN」端子からの信号)をするときに入力レベルを調整します。(ダビング時は固定レベルとなり、調整は不用です。)

### ㉒カウンターとリセット・ボタン [COUNTER]/[RESET]

IIデッキに連動したカウンターです。リセット・ボタンを押すと“000”になります。

### ㉓コンティニアス再生表示ランプ [CONT PLAY] <W-460C>

[CONT PLAY] スイッチ⑳を押して「ON」にすると点灯します。

### ㉔コンティニアス再生スイッチ [CONT PLAY] <W-460C>

押して「ON」にすると、IデッキとIIデッキが交互に再生を行う“コンティニアス再生”になります。(11ページ)

## Iデッキ、IIデッキの優先動作について

片方が作動中は、もう一方は早送り/巻戻し動作以外は、操作ボタンを押しても作動しません。

## オート・リバース機構について <W-660R>

W-660Rは往復での録音および再生が可能なオート・リバース機です。

テープ・エンドにおけるオート・リバース・システム(反転機構)には、新開発の Super A.R.H.S (Acculign Rotating Head System)回転ヘッド方式と当社独自のI.R (赤外線)コンビネーション・テープセンサーを併用しています。

テープ走行中に異質部分(リーダーテープなど)を検出することによって、ヘッドが回転しテープ走行を反転しますので、テープの途切れがほとんど気にならない録音、再生となります。なお、リーダーテープなどが無い場合には、従来と同様にテープ・エンドで反転します。

### ご注意

1. テープ走行を開始して約15秒以内にリーダーテープを検出しても反転はしません。
2. プログラム再生中は、リーダーテープ部分で反転しません。
3. テープにキズがついていたり、ヘッドの近くに強い光をあてた場合は、テープの途中でリバースすることがあります。([REV MODE]スイッチ「」)

## 録音・再生・消去

●本機はオート・テープ・セレクター機構になっていますので、必ずテープ検出孔の付いたカセットをご使用ください。検出孔が付いていないカセット(クローム、メタル)は、テープ本来の性能が発揮できません。

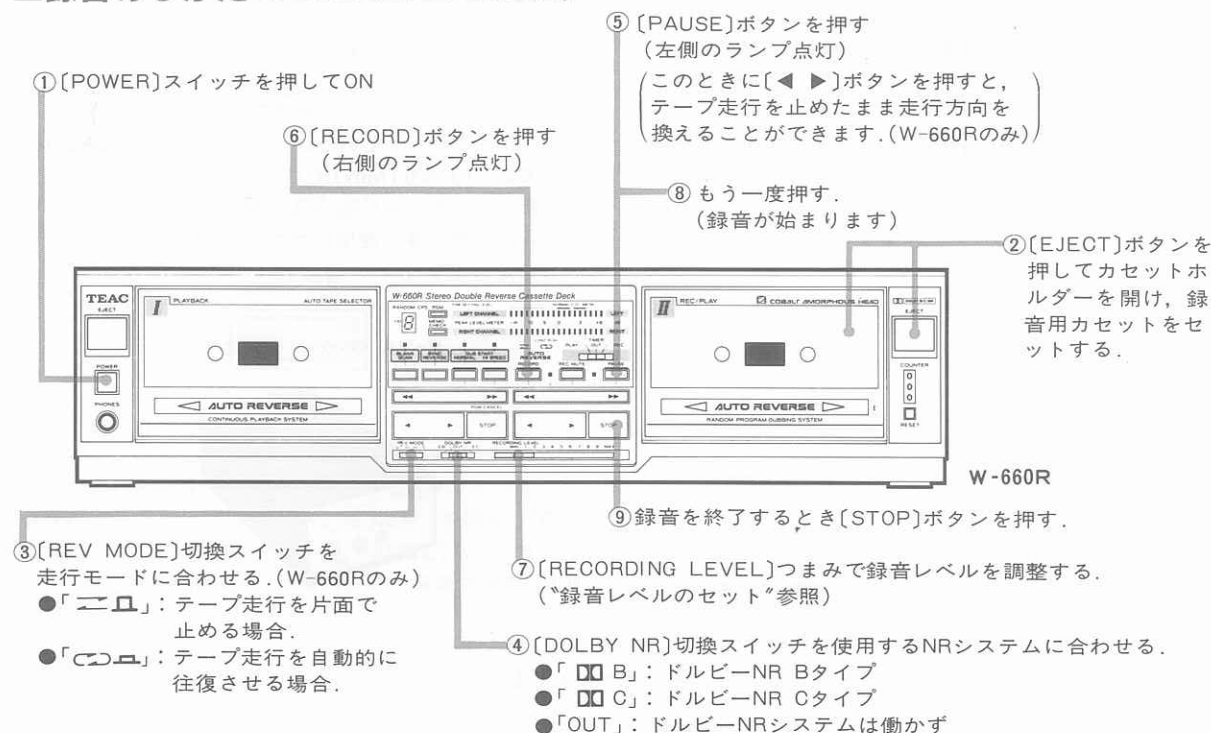
●カセットの識別をIデッキ・IIデッキそれぞれ別々に行っていますので、異なるタイプのカセットを一緒に使うことができます。

●W-660Rは、カセットのA面を手前に向けて装着してください。フォワード録音/再生が常にA面に行なわれます。

W-460Cは、録音/再生したいカセット面を手前に向けて装着してください。

●Fe-Crタイプのカセット、C-120カセットは使用しないでください。

### ■録音のしかた(「LINE IN」端子からの録音)



●録音中に[◀ ▶]ボタンを押すと、押した方向にテープ走行が切り換わります。<W-660R>

●録音を一時停止する場合は[PAUSE]ボタンを押し、もう一度押すと録音が再開します。

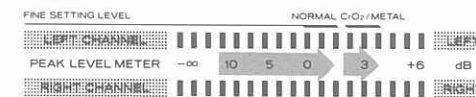
FM放送やレコード、CDプレーヤーなどから録音したものは、個人的に楽しむなどのほかは、著作権法上の権利者に無断で使用できません。

### 録音レベルのセット

録音レベルのセットとは、録音ソースのレベルを調節して最適な大きさにすることで、カセット・デッキとテープの持つ性能を能率よく引き出し、雑音やひずみの少ない、上手な録音をするための大切なポイントです。低すぎる録音レベルの場合は再生時にノイズが耳ざわりになり、逆に高すぎるレベルでははずんだ録音になってしまいます。

の目安としては、曲の最大音でピーク・レベル・メーターが“NORMAL”(0)または“CrO<sub>2</sub>/METAL”(3)位置まで指示するよう、それぞれのテープに応じて[RECORDING LEVEL]つまみを調整します。(本機は、L・R両チャンネルが同時に調整されます)

[PAUSE]ボタン・[RECORD]ボタンの順に押して録音一時停止状態にして、録音レベルの調整をします。調整

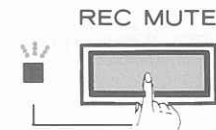


## 便利な機構とその使いかた

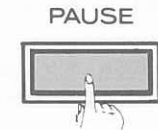
### ■曲間のスペースを等間隔(約4秒)にするには (IIデッキ)

#### —録音ミュートング—

- 録音中に曲の最後で[REC MUTE]ボタンを押します。約4秒間の無信号録音後、録音一時停止になります。
- 無信号録音を4秒以上にする場合は、ボタンを押し続けてください。指を離すまでの間が無信号録音になります。



- 次の曲の始まりと同時に[PAUSE]ボタンを押します。一時停止状態が解除され録音が始まります。

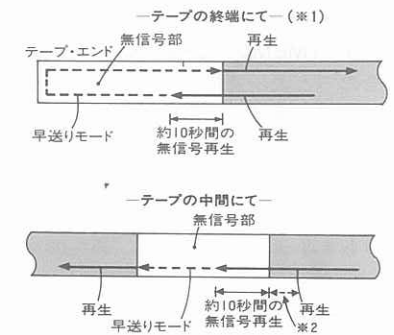
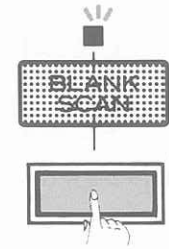


- 無信号録音中に再度[REC MUTE]ボタンを押すと、テープ走行を続けたまま録音に復帰します。
- 録音一時停止中に[REC MUTE]ボタンを押すと“RECORD”ランプが点滅に変わり、[PAUSE]ボタンを押すとテープ走行と同時に約4秒間の無信号録音が始まります。

### ■長い曲間(約10秒以上)は飛び越して聞くには (I/IIデッキ)

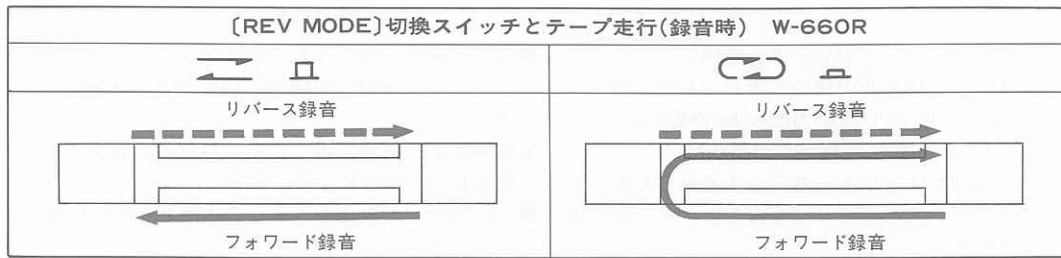
#### —ブランク・スキャン—

- [BLANK SCAN]ボタンを押してON(ランプ点灯)にしておくと、再生時の無信号が約10秒間続くとテープは早送りされ、次の曲から再び再生を始めます。



※1. [REV MODE]スイッチ「」(W-660R)

※2. 曲の最後がフェードアウトされるなど低レベルが続く場合、音楽は聞こえても“無信号部分”と検出されることがあり、この部分から約10秒間でブランク・スキャン動作になることがあります。



### ■再生のしかた (1巻のカセットを聞く)

下図の番号順に操作します。

- ステレオ・アンプは“テープ・モニター”の状態にしてください。
- ステレオ・アンプの音量調整ツマミは、あらかじめ絞っておいください。
- [BLANK SCAN]ボタンを押しておく(ランプ点灯)“ブランク・スキャン”が働きます。(9ページ)

### ■消去のしかた

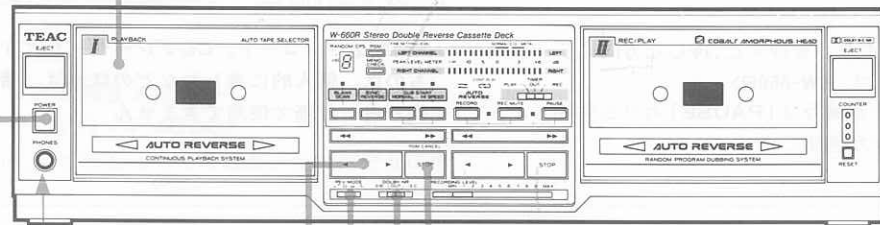
録音が行われると、以前テープに録音されていた内容は自動的に消去ヘッドで消され、録音ヘッドで新しい内容が録音されますので、消去操作を特に行う必要はありません。消去だけをしたいという場合には、[RECORDING LEVEL]つまみを[MIN]まで下げて録音を行います。短時間に消去をしたい場合は、別売のTEAC E-2Aバルク・イレーサーをご使用ください。(ただし、メタル・テープを除きます。)

E-2Aバルク・イレーサー



- [POWER]スイッチを押してONにする。



- Iデッキ(又はIIデッキ)に再生用カセットをセットする。



- 再生を止めるとき[STOP]ボタンを押す。

- [DOLBY NR]切換スイッチをセットする。

- [REV MODE]切換スイッチをセットする。(W-660Rのみ)

- 「」: 再生を片面のみ行う場合。
- 「」: 再生を往復させる場合。

- [< >]ボタンを押す。テープが走り再生を始めます。

(W-660Rは、押した矢印方向へ再生を始めます。)

- ステレオ・アンプで音量・音質を調整します。

ヘッドホンでモニターする場合は、ステレオ標準プラグ付ヘッドホンをつないでください。

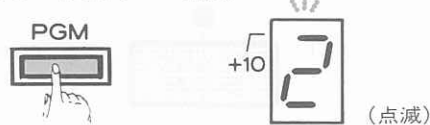
## ■希望する曲だけを聞くには —プログラム再生— (Iデッキ)

再生して聞きたい曲だけをあらかじめ予約してプログラムすることで、希望する曲を順次再生します。

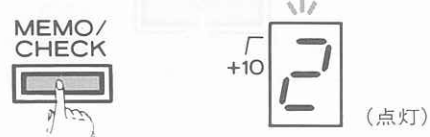
### 予約／プログラム

●カセットが入ってなくても操作できます。

1. [PGM]ボタンを押して、指定曲の曲番号を表示窓に表示させます。(曲番号……点滅)



2. [MEMO/CHECK]ボタンを押します。(曲番号…点灯)



他にも予約したい曲がある場合は、1と2の操作を繰り返します。(最大19曲まで予約可能。20曲目は“F”表示)  
※予約した内容は、[MEMO/CHECK]ボタンを押すと“曲番号”がそのつど表示窓に表示され、押し続けた場合は連続して表示します。

### 再生

●再生用カセットをIデッキに装着し、再生の準備を行います。

3. [◀▶▶▶]ボタンを押します。

「◀▶▶▶」: A面の最初から曲番号を数えた場合。

「▶▶▶▶」: B面の最初から曲番号を数えた場合。

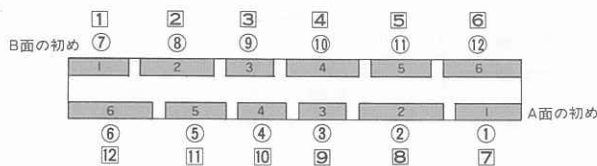
(W-460Cは「▶▶▶▶」を押しても作動しません。)

早送りまたは巻戻しされたテープはA面またはB面の最初に戻ってからサーチを始め、予約された1曲目から順次再生を行います。

※W-660Rは[REV MODE]切換スイッチが「」の場合、片面だけのサーチおよび再生となり、「」の場合はA面→B面へのサーチおよび再生を行います。

※W-460Cは、手前に向けられているカセット面のみを再生します。

### “曲番号”のかぞえかた



- A面の最初から数える場合……  
A面およびB面の曲は、①②③…⑫とそれぞれの曲番号になります。
- B面の最初から数える場合……  
B面およびA面の曲は、⑫⑪⑩…①とそれぞれの曲番号になります。

### 予約／プログラム内容の変更について

例えば、②→④→⑥→⑧と各曲をプログラムしたとします。

#### ■削除

例：④を削除するには……

1. [MEMO/CHECK]ボタンを押して、表示窓に“4”を表示させます(点灯)。
2. [PGM]ボタンを押して、表示窓に“C”を表示させます(点滅)。
3. 再び[MEMO/CHECK]ボタンを押すと、表示窓に“6”が表示され(最後の曲を削除した場合は“-”表示)、“4”が削除されます。

#### ■追加

例：⑨を追加するには……(最後の曲の次に追加されます)

1. [MEMO/CHECK]ボタンを押して、表示窓に“-”を表示させます(点灯)。
2. [PGM]ボタンを押して、表示窓に“9”を表示させます(点滅)。
3. [MEMO/CHECK]ボタンを押します。“9”の点滅表示が点灯に変わりメモリーされたことを示します。

#### ■入換

例：⑥を⑫にするには……

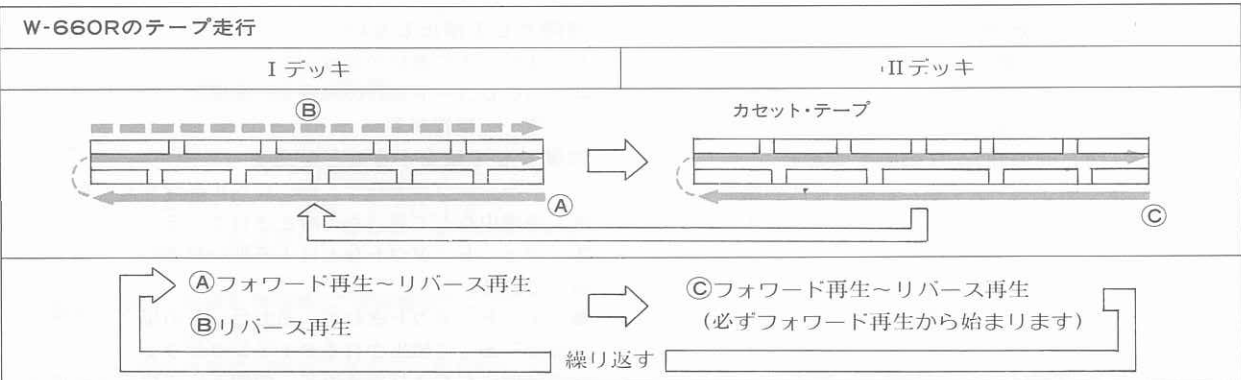
1. [MEMO/CHECK]ボタンを押して、表示窓に“6”を表示させます(点灯)。
2. [PGM]ボタンを押して、表示窓に“2”を表示させます(点滅)。
3. [MEMO/CHECK]ボタンを押します。“2”の点滅表示が点灯に変わり入換られたことを示します。

プログラム再生を完了、またはプログラム再生中にテープ走行操作ボタンを押すとプログラム再生モードは解除になります。

## ■2つのカセットを連続させて聞くには… —コンティニアス再生—

① [POWER]スイッチを押してON。  
② 再生用カセットをIデッキとIIデッキにそれぞれセットする。  
③ [DOLBY NR]切換スイッチをセットする。  
④ [REV MODE]切換スイッチを「」にする。(W-660R) [CONT PLAY]スイッチを押して「」にする。(W-440C)  
⑤ [◀▶]ボタンを押す。(IIデッキの[◀▶]ボタンを押しても作動します)

●[BLANK SCAN]ボタンを押しておく(ランプ点灯)、コンティニアス再生中でも“ブランク・スキャン”が作動します。



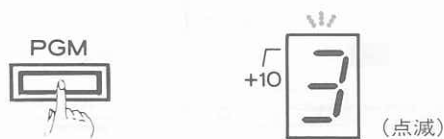
## ■CPSシステムについて

(CPS : Computomatic Program Search)

今聞いている曲または曲間から前後19曲までの1曲をサーチして、再生を続けます(1曲で止まらない)。

今聞いた曲を聞き直す場合などに便利です。

1. [PGM]ボタンを押して指定曲までの数を表示窓に表示させます。☑“指定曲の数え方”参照



2. [◀▶▶▶]ボタンを押します。

指定曲が現在より後方にある場合は「▶▶▶▶」側、前方の場合は「◀◀◀◀」側を押します(フォワード再生時)。

3. 途中の曲を飛び越すごとに表示窓の数字が1つずつ減って指定曲になると「0」となり、再生を始めます。

(W-660Rは、方向指示ランプが示す方向へ再生を始めます。)

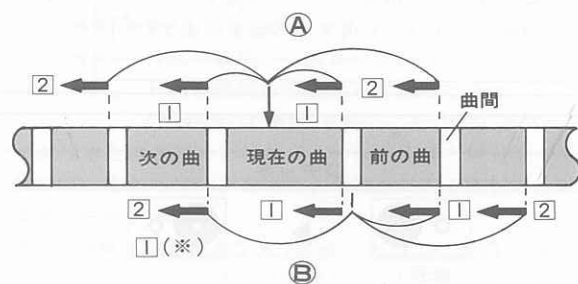
### 指定曲の数えかた

#### ① 曲の途中から選曲する場合

現在より後の曲をサーチするときは次の曲を1曲目、前の曲の場合は現在の曲を1曲目に数えます。

#### ② 曲間(曲と曲の間)から選曲する場合

現在より後の曲をサーチするときはすぐ次の曲が1曲目、前の曲の場合は今聞いた曲を1曲目に数えます。



※ 次の曲までの無信号部分が約4秒以下の場合、その次の曲が①になります。

### ●CPSモードでサーチされるカセット面

(REV MODE) 方向指示 ランプ	▶▶▶▶	◀◀◀◀
▶	A面のみ	[◀▶▶▶]ボタンのどちらを押してもA・B面をサーチ
◀	B面のみ	

### ご注意

CPSは曲間などの無信号部分を検出しながらサーチしますので、次のようなカセットは正しくサーチできない場合があります。

#### 曲間として検出しない

1. 4秒以上の無信号部分がない。
2. 古いレコードなどの録音で、曲間にスクラッチ・ノイズ等……雑音が多い。

#### 曲間として検出することがある

1. クラシック音楽などで低いレベル部分が長く続く。
2. 会議中などで発言が一時とぎれている。
3. フェード・アウトなどによる低い録音レベル部分が続けている。

●フェード・アウトされているカセットの場合、“無信号部分”として検出されるタイミングがフェード・アウトの状態に左右されますので、曲間として検出する場合とされない場合の二通り発生することがあります。

●ハッキリした曲間を作るため、録音時、曲間では“録音ミュート機構”を使用することをおすすめします。

## タイマー録音・再生

留守中や就寝後のFM放送番組など、タイマー (TEAC TT-1別売など)を組み合わせて自動的に録音を行うことができます。また、再生用カセットを装着すれば“モーニングコール”などにも利用できます。

### ■タイマー録音のしかた

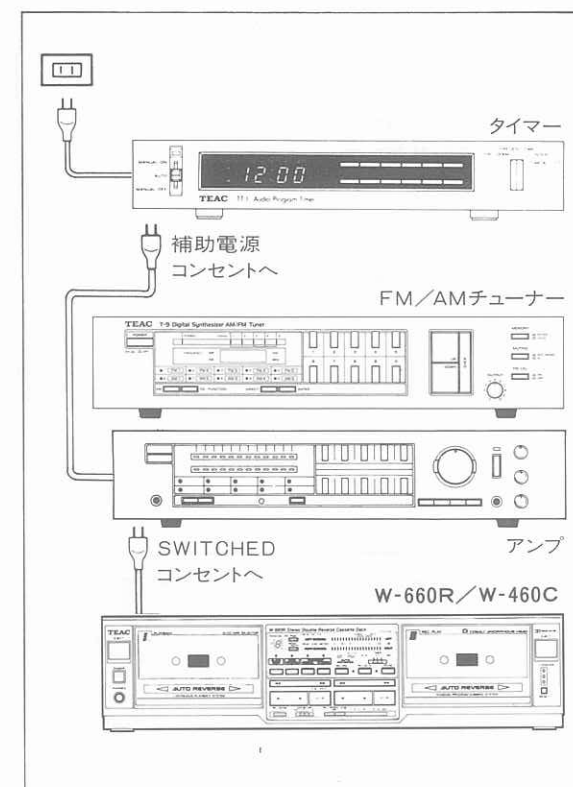
1. 各機器の電源コードを接続し、タイマーをONにします。(もちろんピンコードは接続されていること)
2. 各機器の電源スイッチも押してONにし、チューナーの選局をします。
3. 7ページ“録音のしかた”と同様に各スイッチ・ツマミ類をセットして、録音レベルもセットします。(カセットはIIデッキ側に装着します。)  
※W-660Rは、電源を切る時に方向指示ランプが示す方向へ録音を始めますので、この方向指示ランプの方向にも注意してください。
4. 録音を開始および終了させたい時刻にタイマーを合わせます。(各機器への電源が切れる)
5. [TIMER]切換スイッチを「REC」にします。  
以上で、指定時刻になると録音を始めます。

### ■タイマー再生のしかた

1. 各機器の電源コードを接続し、タイマーをONにします。(もちろんピンコードは接続されていること)
2. 各機器の電源スイッチも押してONにします。
3. 再生用カセットを装着し、各スイッチ・ツマミ類をセットします。  
※W-660Rは、電源を切る時に“方向指示ランプ”が示す方向へ再生を始めます。
4. 再生を開始させたい時刻にタイマーを合わせます。(各機器への電源が切れる)  
以上で、指定時刻になるとタイマー再生が始まります。

●タイマーをセット後本機を使用する場合は、[TIMER]スイッチを「OUT」に戻してから電源を入れ操作してください。

●タイマー録音/再生を終了後は、必ず[TIMER]スイッチを「OUT」に戻してください。



■ 1巻のカセットをまるごと録るには

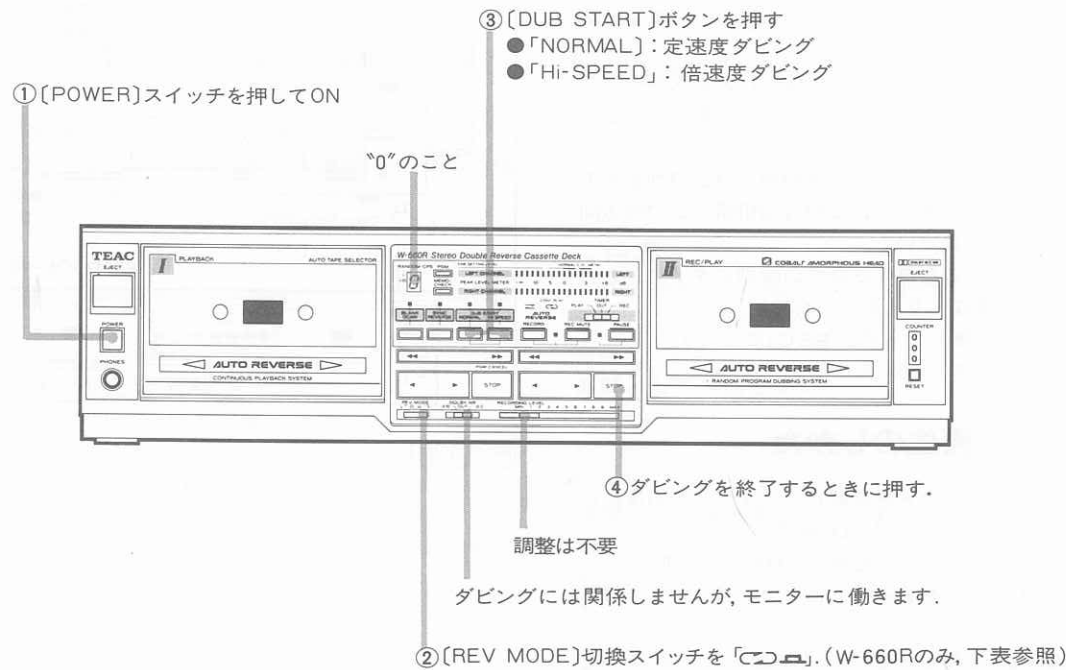
準備

● Iデッキへ再生用カセット, IIデッキへは録音用カセットをそれぞれ装着します。

● W-660Rは, 方向指示ランプの点滅方向へそれぞれテープが走り出しますので, あらかじめ「▷」方向にしてください。

操作方法

番号順に操作します



方向指示ランプ [REV MODE]	I デッキ		II デッキ	
	◀	▶	◀	▶
II	再生のみ再生	再生のみ再生	録音のみ録音	録音のみ録音
A	再生をB面から開始し, IIデッキが録音を完了するまで続行。	再生をA面から開始し, IIデッキが録音を完了するまで続行。	録音のみ録音	A面~B面を録音

カセットはA面を手前にして装着

●ダビング中は[◀▶]ボタン,[▶]ボタンを押しても働きません。

●W-460Cはダビングを片面で終了します。もう片面については, カセットを裏返して再び同じ操作をしてください。

●ダビングされてできるカセットは, 再生用カセットと同じドルビーNRシステム(使用している場合), 同じレベルになります。

ご注意

1. テレビの近くで倍速度ダビングをするとテレビの水平発振周波数(15.75kHz)が録音されることがあります。この場合は, 定倍度ダビングにする, またはテレビの電源を切るか遠ざけるなどしてください。
2. 早送りまたは巻戻ししてテープ・エンドになった直後は, [DUB START]ボタンを押しても働きません。約5秒後に操作してください。

■ 復路のダビング開始を一致させるには...

シンクロ・リバース・ダビング (W-660R)

例えば“シンクロ・リバース”させない場合のダビングでは, IデッキとIIデッキはテープエンドでそれぞれ別々に反転を行なうために, A面(往)を再生中でもB面(復)に録音されることもありB面の最初を再生側と録音側で一致させることができません。

これを解決させるのが“シンクロ・リバース・ダビング”で, B面のスタートを再生側と録音側が一緒に行います。同じカセットを録音側に使用した場合でも, メーカーの

違いや走行誤差等によって“反転”のタイミングは異なりますので, シンクロ・リバース・ダビングが大変便利です。

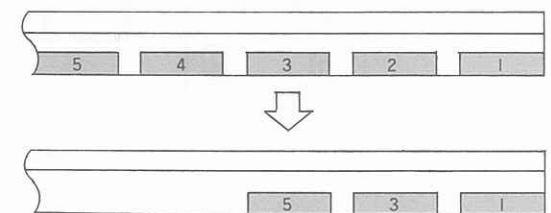
前記と同様に操作し, [SYNC REVERSE]ボタンも押してランプを点灯させます。

注. [SYNC REVERSE]ボタンは, 表示窓に「0」, IデッキおよびIIデッキの方向指示ランプが「▷」側を示している場合に働きます。

テープ走行	
I デッキ	II デッキ
I < II (IデッキのカセットがIIデッキのカセットより短くなる場合)	
① A面の再生開始	A面の録音を開始
② IIデッキが録音を終了するまで停止	残りの部分を無信号録音
③ B面の再生を開始	B面の録音を開始
④ 再生を終了して停止	残りの部分を無信号録音
I > II (IデッキのカセットがIIデッキのカセットより長くなる場合)	
① A面の再生を開始	A面の録音を開始
② 残りの部分を無音再生	Iデッキが再生を終了するまで待機
③ B面の再生を開始	B面の録音を開始
④ 停止	停止

■ 好きな曲だけを選んで録るには... (プログラム・ダビング)

1. 前記と同じように準備をし, ①, ②の操作をします。
2. 10ページ“プログラム再生”の要領で, 好きな曲だけを選択してプログラムします。
3. [DUB START]ボタンを押します。プログラムした曲だけを順次録音します。(Iデッキが次の曲をサーチしているとき, IIデッキは録音一時停止しています。)





## ■ダビング時の録音ミュートについて

定速度ダビング中に[REC MUTE]ボタンを押すと、IIデッキは約4秒間の無信号録音をして一時停止になります(Iデッキは再生を継続)。録音を再開させる場合は[PAUSE]ボタンを押します。

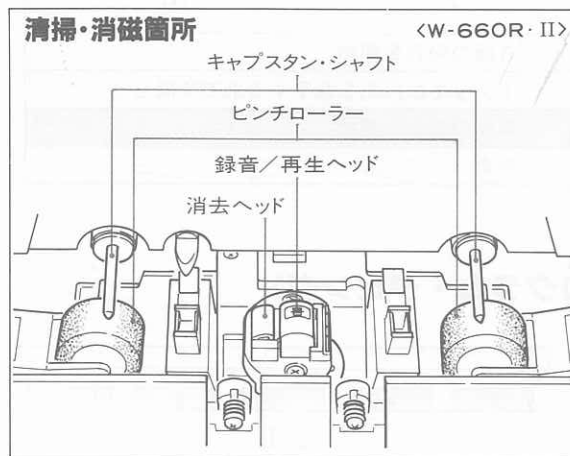
## ■ダビング時の一時停止について

定速度ダビング中に[PAUSE]ボタンを押すと、IIデッキは一時停止となります(Iデッキは再生を継続)。録音を再開させる場合は[PAUSE]ボタンを押します。

## 簡単なお手入れ

### ■清掃

ヘッドに磁性粉などのゴミが付着すると録音特性が悪化したり再生時には音飛び・濁りなどの原因になります。できれば使用のたびに、クリーニング液を綿棒に含ませてヘッドを清掃してください。なお、ピンチローラーなどのテープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。ヘッドと一緒に清掃を行ってください。(図参照)



注. ヘッドのクリーニング液が乾くまで、録音/再生は行わないでください。

## ■ダビング時のブランク・スキャンについて

ダビング中(定/倍共)のブランク・スキャンは、定速度時は4秒間、倍速度時は2秒間でそれぞれ作動します。Iデッキが次の曲をサーチ中IIデッキは一時停止し、サーチ後再びダビングを再開します。

### ■消磁

ヘッドは汚ればかりか磁気を帯びることがあります。磁化されたヘッドは、やはり録音/再生に悪影響を及ぼします。50時間に1回程度、ヘッド・イレーサーを使用して消磁してください。

ヘッドの消磁は、本機の電源を切り、電源を入れたヘッド・イレーサーをヘッドに近づけ、表面を数回するようにして徐々にヘッドから遠ざけます。

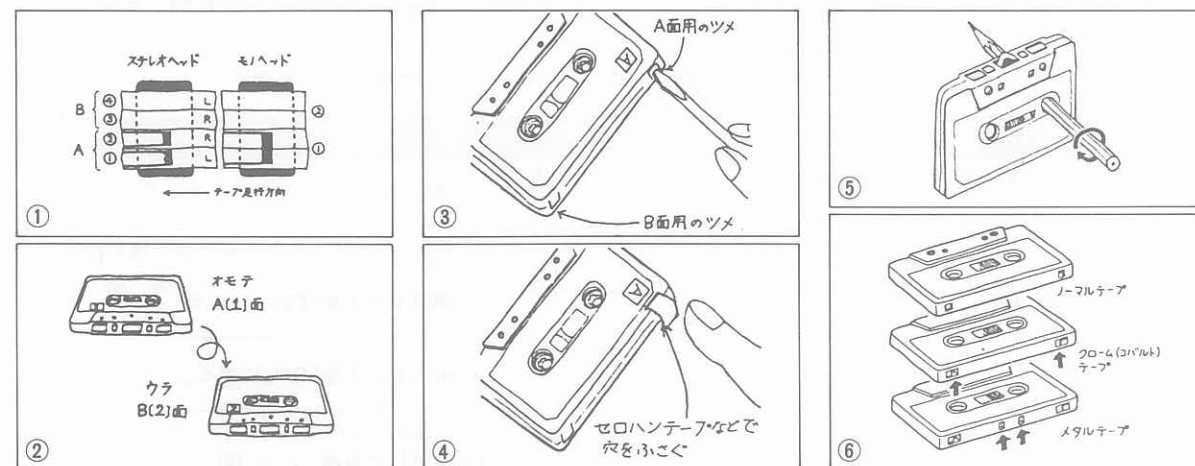


E-3ヘッド・イレーサー






## カセット・テープについて

- ①ステレオとモノラルが共用できるように、トラック方式が定められています。
- ②A・B両面に録音/再生ができます。
- ③④大切な録音内容を消さないように誤消去防止ツメがあり、ツメを折ると録音ができなくなります。再び録音を行なうには、穴をゼロハン・テープなどでふさぎます。

- (クローム検出孔をふさがないように)
- ⑤テープのたるみは“巻き込み”などの原因になります。鉛筆などでたるみを巻き取ってからご使用ください。
  - ⑥カセット・ハーフにはテープ検出孔が付いています。本機などのようなオート・テープ・セレクター機では、テープの種類が自動検出されます。



**おや！故障かな？** (ちょっと待ってください。サービスをご依頼になる前にもう一度チェックしてください。  
案外簡単な操作ミスやカン違いであることが多く、ちょっとした手入れで直ることがあります。)

症状	原因	処置
<b>テープ走行</b>		
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源コード(プラグ)の差し込みが不完全	電源コード(プラグ)を差し込む
電源が入るとテープが走り出す	[TIMER]スイッチが[PLAY]または[REC]になっている	[TIMER]スイッチを[OUT]に戻す
早送りしない(▶▶▶) 〈W-460C〉	表示窓に“0”以外の数が点灯している	[STOP]ボタンを押す
<b>テープ再生</b>		
往復再生にならない 〈W-660R〉	[REV MODE]スイッチが「  」位置になっている	同スイッチを「  」にする
コンティニアス再生しない	双方にカセットが入っていない	Iデッキ・IIデッキへカセットを装着する
	[REV MODE]スイッチが「  」になっている 〈W-660R〉	同スイッチを「  」にする
	[CONT PLAY]スイッチが「OFF」になっている 〈W-460C〉	同スイッチを「ON」にする
音が出ない	システムとの接続が悪い(誤配線等)	システムとの接続をもう一度確認してみる
音質が悪い	ヘッドが汚れている	TZ-261のA液で清掃する
	NRシステムが合っていない	[NR SYSTEM]スイッチを録音時のNRシステムに合わせる
	ヘッドが帯磁している	ヘッド・イレーサーで消磁する
ハム・ノイズが出る	ハム発生源(トランスなど)に近い	ハム発生源から遠ざける 電源プラグを差し換えて極性をかえてみる
[◀▶]ボタンを押しても再生しない(IIデッキ)	[PAUSE]ボタンが押されて一時停止モードになっている	もう一度[PAUSE]ボタンを押すか、 [STOP]ボタンを押して解除する
<b>テープ録音</b>		
録音しない	カセットの“誤消去防止ツメ”が折れている	“ツメ”跡にセロハン・テープなどを貼る
	入力コードのはずれ、コード不良	接続をもう一度確認してみる 入力コードを交換してみる
	録音レベルが低い	[RECORDING LEVEL]つまみを [MAX]方向へ上げる
	ヘッドが汚れている	TZ-261のA液で清掃する
往復録音にならない (W-660R)	[REV MODE]スイッチが「  」位置になっている	同スイッチを「  」にする

**仕 様**

トラック形式	4トラック2チャンネル・ステレオホニック方式
ヘッド構成	再生ヘッド×1, 録音/再生ヘッド×1・消去ヘッド(ロータリー式)〈W-660R〉
	再生ヘッド×1, 録音/再生ヘッド×1, 消去ヘッド〈W-460C〉
使用テープ	C-60, C-90タイプカセット・テープ
テープ速度	4.8センチ, 9.5センチ(倍速ダビング時)
モーター	〈Iデッキ・IIデッキ〉
	キャプスタン: DC サーボモーター×1
	リール: DC モーター×1
	メカニズム: DC モーター×1
ワウ・フラッター	0.05%(W. RMS), ±0.1%(W. Peak EIAJ)
周波数特性 (総合)	25Hz~20,000Hz(30Hz~19,000Hz±3dB, EIAJ): マタル
	25Hz~19,000Hz(30Hz~17,000Hz±3dB, EIAJ): クローム
	25Hz~18,000Hz(30Hz~16,000Hz±3dB, EIAJ): ノーマル
総合S/N比	59dB(NR OUT, 3% THDレベル, WTD)
	69dB(ドルビーB NR IN 5kHz以上)
	78dB(ドルビーC NR IN 1kHz以上)
早巻時間	C-60テープで約110秒
入力	ライン: 60mV(入力インピーダンス50kΩ)
出力	ライン: 0.3V(負荷インピーダンス50kΩ以上) ヘッドホン: 8Ω
電源	100V AC, 50/60Hz
消費電力	18W
外形寸法	435(幅)×111(高さ)×290(奥行)mm(突起部含む)
重量	5.7kg 〈W-660R〉, 5.5kg 〈W-460C〉
付属品	入出力コード 2本(1組)

※この仕様は特に表示した項目を除き、当社基準テープを使用して測定したものです。  
※仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

**寸法図**

